令和５年度　公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告書

基　本　方　針

近年、社会のスポーツへの関心や期待が高まっている中で、県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化している。そこで、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」のめざすとちぎの将来像である「人が育ち、地域が活きる　未来に誇れる元気な“とちぎ”」や「栃木県スポーツ推進計画 2025（とちぎスポーツ推進プラン）」の基本理念である「スポーツを通じて夢や感動を共有しスポーツで人生を豊かにする“とちぎ”の実現」に向け、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図ることとした。

このため、「スポーツ参画人口の拡大」と「スポーツ施設の充実とスポーツによる地域活性化」を図りながら、「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の育成」を目指して、各種事業を推進した。

令和５年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成及びスポーツ指導者の育成等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図った。

また、第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」のレガシーを継承し、県と連携を図りながら競技力向上事業並びにスポーツコミッション事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、栃木県総合運動公園北・中央エリアの運動施設、とちぎスポーツ医科学センター、今市青少年スポーツセンターの利用促進や適切な維持管理に努めた。

１　スポーツ振興事業

⑴　各種大会開催事業

栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり１スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として５年ぶりに開催し、参加選手・役員は 11,336 名、観覧者は 4,253 名、計 15,589 名であった。

①　大会

大会は、地方大会（市町大会）と中央大会とし、市町は中央大会の予選として市町大会を開催し、7,267 名の選手が参加した。

②　中央大会実施競技

対抗競技１８競技、オープン競技４競技を開催し、3,199 名の選手が参加した。

第１日　　令和５年 10 月 15 日（日）　陸上競技ほか

第２日　　令和５年 10 月 22 日（日）　バレーボール競技ほか

※雨天のため、うち４競技(軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・ゲートボール)が中止。

③　総合表彰式　令和５年 12 月　１日（金）

総合優勝、総合準優勝・総合第３位及びスポーツ奨励賞の市町を表彰した。

⑵　スポーツ医・科学事業

県からスポーツ医・科学サポート事業の委託を受け、国体強化における効果的なスポーツ医科学支援の在り方に向けた調査研究やサポート体制の構築及び競技団体へのトレーナーの派遣を実施した。

ア　トレーナー帯同事業

国民体育大会本大会等において、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー等を派遣し、選手のサポートをした。

イ　国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員会を中心に、国体に参加する選手の健康状態を確認し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すと同時に、県内の(公財)日本スポーツ協会公認スポーツドクター並びにスポーツファーマシストとの連携を図った。

ウ　国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、健康管理調査研究班員会を中心に、国体に参加する選手、監督・コーチを対象に薬の乱用・誤用防止の認識を高めるために研修会等を開催して、健全なスポーツ活動を推進した。

エ　女性アスリートサポート支援

女性アスリート特有のスポーツ障害を予防し、競技力向上が図れるよう、とちぎスポーツ医科学センターが実施する問診・血液検査・各種サポートに協力した。

⑶　顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。

〔令和６年２月１９日（月）栃木県公館　大会議室〕

ア　スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者７名を表彰した。

イ　スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した３団体を表彰した。

ウ　スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手 18 名１団体を表彰した。うち、国際大会で３位以内に入賞した９名を、スポーツ優秀選手賞特別賞で表彰した。

エ　船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる４名を表彰した。

オ　国民スポーツ大会優秀団体・監督・選手感謝状

「特別国民体育大会本大会」及び「第 78 回国民スポーツ大会冬季大会」において、優秀な成績を収めた 27 競技の監督等 47 名及び選手 213 名に感謝状を贈呈した。

カ　栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、（公財）栃木県スポーツ協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手 21 名を表彰した。

⑷ スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア　公認コーチ１・公認コーチ２養成講習会の開催

①公認コーチ１養成講習会は、スポーツクラブや運動部活動等でコーチングスタッフとして基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する者の養成を目的として開催し、山岳（アルパインクライミング）の専門科目において 18 名、バレーボールの専門科目において 44 名が受講した。

②公認コーチ２養成講習会は、スポーツクラブや運動部活動等で監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する者の養成を目的としている。　※開催なし

イ　スポーツ指導者研修会の開催

（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として令和５年７月２日（日）及び令和６年２月４日（日）に開催し、両日ともユウケイ武道館において合計 157 名の参加者を得て実施した。

また、スポーツ協会独自で講習会を開催し、指導者の資質向上を図った。

４講座　（参加者　延べ　352 名）

【対面講習会】

・トレーニング指導講習会　１講座（６ ～ 10 月：終日）　（参加者　延べ　174 名）

※講義のみ対面・オンラインの両方開催

・トレーニング指導講習会アドバンスコース

１講座（10 ～ 11 月：午前）　（参加者　延べ　14 名）

・協力測定員養成講習会　１講座（６ ～ ９月：終日）　（参加者　延べ　23 名）

【オンライン講習会】

・競技別セミナー「バスケットボール」　１講座（３月：終日）　（参加者　延べ　141 名）

⑸　広報事業

本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努め、県民の理解と協力を得た。

ア　とちぎスポ協だよりの発行
イ　スポ協アワー（栃木放送）による広報
ウ　イベントニュース（栃木県総合運動公園行事案内）の発行
エ　今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行
オ　ホームページによる広報
カ　その他新聞・放送等の媒体による広報
キ　ＳＮＳを通したとちぎスポーツ医科学センターにおける施設周知及びスポーツ医科学の知見に基づいた情報の提供

⑹　スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○　スポーツ教室種目（５月～12 月）　５講座　（参加者　延べ　970 名）

・テニス　１講座（11 月：昼間）　（参加者　延べ　63 名）
・ピラティス　１講座（５～６月：昼間）　（参加者　延べ　267 名）
・レッドフィット　１講座（６～８月：昼間）　（参加者　延べ　156 名）
・美温活　１講座（11～12 月：昼間）　（参加者　延べ　164 名）
・バレトン　１講座（１～２月：昼間）　（参加者　延べ　320 名）

○　とちぎの子ども元気塾事業

将来を担う子ども達に、様々な運動（運動遊び）を行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。

・期　　間　６月～３月　２コース　各 14 回
・種　　目　ACP・相撲・陸上・親子コーディネーション運動・スポーツチャンバラ・バスケットボール・柔道・スケート・ホッケー・サッカー等
・参加人数　延べ 1,270 名

⑺　総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

とちぎ広域スポーツセンター事業

県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。さらに、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

①　クラブ設立・運営支援活動

○　クラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問等を通し運営の助言・指導を行った。
○　スキルアップセミナー①

地域スポーツクラブ関係者等を対象に中学校部活動の地域連携・地域移行について、令和４年度に佐野市・矢板市において実施された「休日の地域クラブ活動実践研究」をもとに、今後の

部活動地域連携・地域移行に向けて総合型地域スポーツクラブとしての関わり方を考えることを目的に開催した。（令和５年５月 14 日（日））

○　スキルアップセミナー②

地域スポーツクラブ関係者等を対象により良いクラブ運営を行うことを目的とし、他クラブの状況等を自由に意見交換できるようグループワークを主としたセミナーを開催した。（令和５年８月６日（日））

○　スポーツクラブセミナー

地域スポーツクラブ関係者等を対象にスポーツ活動中の種目別事故発生率（スポーツ安全保険加入対象のため中学校部活動の事故は対象外）や指導者として、どのようなことに配慮したら良いかなどについて理解を深めることを目的に開催した。（令和５年 12 月３日（日））

②　普及・啓発活動

○　栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。（令和５年５月 14 日（日）、令和５年８月６日（日）、令和５年 12 月３日（日））

○　総合型ＳＣフェスタ（スポーツイベント）の開催

河内地区	令和５年　７月　８日（土）
県北地区	令和５年 10 月　９日（月）
安足地区	令和５年 10 月 15 日（日）
芳賀地区	令和５年 10 月 22 日（日）
下都賀地区	令和５年 10 月 22 日（日）
上都賀地区	令和５年 12 月　３日（日）

２　スポーツ少年団育成事業

⑴　スポーツ少年団組織運営事業

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

○　市町におけるスポーツ少年団組織の充実

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに、日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

⑵　スポーツ少年団指導者・リーダー育成及び派遣事業

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催した。

①　講習会・研修会の開催

○　栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成･指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔令和５年 12 月５日（土）　栃木県教育会館　　35 名参加〕

○　ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニア・リーダー、指導者を育成することを目的として開催し、栃木県１名、宇都宮市 34 名、鹿沼市 25 名、那須塩原市 30 名の合計 90 名を認定した。

○　リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを

目的として、２回の研修会を開催した。
〔令和５年６月 17 日（土）～６月 18 日（日）、10 月 21 日（土）　延べ７名参加〕

② スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会
各単位団においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スタートコーチ(スポーツ少年団)」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」に基づくスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を開催し、県内８コース 474 名が参加した。

③ 中央事業への派遣
○ シニア・リーダースクール
スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクールが開催され、１名の団員を派遣した。
〔令和５年８月９日（水）～８月 12 日（土）　静岡県国立中央青少年交流の家〕

④ ＡＣＰ普及促進研修会
アクティブ・チャイルド・プログラムを周知･普及することを目的として、本研修会を開催した。〔令和５年 10 月 21 日(土)　今市青少年スポーツセンター　11 名参加〕

⑶ スポーツ少年団大会開催・派遣事業
全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

ア 第 61 回全国スポーツ少年大会
期　日：令和５年８月４日（金）～ ８月７日（月）
会　場：兵庫県
〔派遣なし〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（軟式野球・バレーボール・剣道）
① 軟式野球　期　日：令和５年８月３日（木）～ ８月６日（日）
会　場：千葉県
県代表：ブロック敗退のため該当なし
② バレーボール　期　日：令和６年３月 28 日（木）～ ３月 31 日（日）
会　場：静岡県
県代表：たぬまＡＣバレーボールスポーツ少年団　（佐野市スポーツ少年団）
③ 剣　道　期　日：令和６年３月 29 日（金）～ ３月 31 日（日）
会　場：新潟県
県代表：団体戦５名、個人戦２名　（栃木市・下野市スポーツ少年団）

ウ 令和５年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
期　日：令和５年 11 月 12 日（日）
会　場：オンライン
〔指導者１名、リーダー３名参加〕

エ 第 42 回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会
期　日：令和５年７月 16 日（日）～ ７月 17 日（月）
会　場：東京都町田市ほか
〔軟式野球の代表チームが参加した。〕
期　日：令和５年７月 29 日（土）～ ７月 30 日（日）
会　場：東京都八王子市ほか
〔バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した。〕

オ 第 54 回関東ブロックスポーツ少年大会
期　日：令和５年９月 16 日（土）～ ９月 18 日（月）
会　場：栃木県鹿沼市ほか
〔指導者 17 名、リーダー９名参加〕

カ 第 22 回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会
期　日：令和５年 10 月 21 日（土）～ 10 月 22 日（日）

会　場：茨城県
〔指導者１名、リーダー２名参加〕

キ　競技別交流大会
軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・バドミントン・空手道・剣道・柔道の８競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し 2,593 名の団員の参加があった。

ク　交歓会
市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。
期　日：令和５年７月 15 日（土）～ ７月 17 日（月）
場　所：今市青少年スポーツセンター 〔指導者 13 名、団員 20 名参加〕

⑷　スポーツ少年団国際交流事業　※開催なし

⑸　スポーツ少年団顕彰事業
永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。
〔 登録指導者表彰　７名、単位団表彰　１団 〕

３　競技力向上事業

平成 28 年度まで、国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため各種事業を推進してきたが、平成 29 年度からは、選手育成強化事業が栃木県競技力向上対策本部へ一元化されたことに伴い、この事業を一部を除き休止とした。
国体選手等派遣事業については、競技力向上事業として、競技団体及び関係機関・団体と緊密な連携を図りながら事業の推進を図った。
なお、スポーツ医・科学サポート事業（県委託事業）をスポーツ医・科学事業の中で実施した。

⑴　国体選手等派遣事業
広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図ることを目的として開催される国民体育大会に、本県選手団を派遣し、併せて大会で活躍した選手等を奨励することにより、県内の競技力向上とスポーツ振興を図った。

ア　国民体育大会栃木県選手団本部運営
国体本大会等への参加にあたり、選手・監督・関係者による「栃木県選手団」を結成し、結団式や指定証授与式の開催、各種大会への派遣・同行、その他関係機関との連絡調整など選手団本部運営に係る事務を行った。

イ　国民体育大会派遣費の補助
参加資格を有する者として競技団体が選考した選手等の国体本大会（先行競技を含む）、冬季大会、関東ブロック大会への派遣に要する経費（旅費、宿泊料等）の全部又は一部を補助した。

ウ　国民体育大会栃木県予選会開催経費の補助
競技団体が主催する当該年度の国体予選会の開催に要する経費（会場使用料）の一部を補助した。

エ　スポーツ指導員配置
県からの助成を受け、優れた競技技術・経験を有するものを「スポーツ指導員」として 10 名を任用し、強化練習会等での本県選手への指導・助言、拠点校での部活動のサポート及び選手としての競技力向上を通じ、本県競技力の一層の向上を図った。

⑵　選手育成強化運営事業（競技用具貸与支援のみ継続）

⑶　指導者養成事業（H29 より休止）

(4)　選手育成強化補助事業（H29 より休止）

※　参　照　　国民体育・スポーツ大会

(1)　関東ブロック大会(埼玉県開催)

ア　実施競技

○　本　大　会　競　技　　令和５年　６月３日（土）～　８月 28 日（月）

○　冬　季　大　会　競　技　　令和５年 12 月１日（金）～ 12 月 17 日（日）

(2)　国民体育・スポーツ大会

ア　特別国体（鹿児島県）

（会期前）　令和５年　９月 16 日（土）～　９月 23 日（日）

（本会期）　令和５年 10 月　７日（土）～ 10 月 17 日（日）

イ　第 78 回大会冬季大会

○　スケート競技会（北海道苫小牧市）　令和６年　１月 27 日（土）～２月　３日（土）

○　ｱｲｽﾎｯｹｰ 競技会（北海道苫小牧市）　令和６年　１月 27 日（土）～２月　３日（土）

○　スキー　競技会（山形県最上町ほか）令和６年　２月 21 日（水）～２月 24 日（土）

４　今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポ―ツの拠点として、適正に管理運営を行うとともに施設の有効活用を図った。

(1)　スポーツ教室開催事業

種　　目	４講座		（参加者　953 名）
・ピラティス	２講座	（春、秋：一般男女対象）	（参加者　739 名）
・美温活リンパストレッチ	２講座	（春、秋：一般男女対象）	（参加者　214 名）
		（春:５月～７月、秋:９月～11 月）	

(2)　県民の日協賛イベント及び施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設の無料開放を実施した。

開　放　日：令和５年６月 11 日（日）　　参加者：52 名

・各施設の無料開放

・小学生ホッケーセミナー　※雨のため中止

・スポーツ教室の無料体験（美温活リンパストレッチ、ピラティス）

(3)　施設貸与事業

宿泊者・外来者の利用促進

・宿泊利用者　　1,512 名

・施設利用者　　33,947 名

※　宿泊棟は令和５年１２月から休止

(4)　施設管理事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守点検・環境整備を実施した。

ア　ホッケー日本リーグ及び各種ホッケー大会に向けた施設管理

イ　スケートリンクの製氷及び冷凍機の管理

ウ　環境整備

・各競技場の清掃、除草作業及び芝刈り

・倒木の撤去、伐採作業

(5)　日光市ホッケー場管理運営業務（受託事業）
日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

５　栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設の管理運営及びとちぎスポーツ医科学センター運営事業

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催で得られたレガシーを継承していくとともに、引き続きスポーツを活用した地域の活性化に向けたスポーツ活動の場の提供拡大、県民の健康増進や競技力向上に寄与する目的を達成するため、指定管理を受託し「栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営業務」及び「とちぎスポーツ医科学センター運営業務」を行った。

(1)　栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営事業

ア　施設管理業務
栃木県総合運動公園陸上競技場、武道館、投てき場等の有料運動施設、合宿所及びとちぎスポーツ医科学センターの維持管理及び施設周囲の環境整備を行った。

イ　有料運動施設等の利用の許可に関する業務
・利用調整会議　　令和６年１月 25 日（木）、２月 16 日（金）実施
・施設の利用状況　　（単位：人）

施設名	利用人員（計）	件数（団体）	利用人員（団体）	利用人員（個人）
スタジアム	２００，５７５	２４１	１９０，７２２	９，８５３
投てき場	１１，７１８	１４	１０，７３２	９８６
クレイグラウンド	１０，８９４	１２		
とちぎ医科学センター	１１，７２４			
トレーニングR	３，１９２			
第２陸上競技場	４８，１９９	３７	３８，１９８	１０，００１
テニスコート	４８，３９３	１５５	２９，９７４	１８，４１９
野球場（本球場）	７８，６５０	１０１		
野球場（ＡＢＣ）	３７，３９１	２２３		
サッカー場	１６，３８９	７９		
ラグビー場	３，５５９	２１		
相撲場	９１３	７	８８５	２８
ウォームアップ場	１，１１３			
合宿所	２，９５５	７１		
武道館	９０，７０３	４０６	８７，０６２	３，６４１
弓道場	２０，７４９	１７５	１７，７１８	３，０３１

※第２陸上競技場はトラック改修工事のため、令和５年 11 月 20 日～令和６年３月 28 日まで利用休止
※武道館は会議室利用者を含む
※減免人数を含む

ウ　栃木県総合運動公園北・中央エリア等の運営に関する業務
利用者の利便性向上、利用促進を図るため、広報誌の作成・配布、ホームページ等により周知を図った。
・テニスコートの夜間利用（18:00～21:00）を開始した。（令和５年４月１日～）
・自主事業として「2023 カンセキスタジアムとちぎ STEEPLE CHASE チャレンジ記録会兼小学生 1000m チャレンジ記録会」を開催した。（令和５年 10 月 15 日実施）
・栃木県誕生 150 年事業として６月 15 日限定施設無料開放を行った。（陸上競技場、武道館の普通利用無料、とちぎスポーツ医科学センタートレーニングルーム無料等）
・カンセキスタジアムとちぎ案内付き施設見学ツアー（毎週木曜日 14 時～）を開始した。（令和５年６月１日～）

・テニスコート、野球場の電子予約システムの運用を開始した。（令和５年８月６日～）
・合宿所レストランが仮オープンした。（令和５年 10 月 21 日～）
・イベントニュースの発行　年 12 回
・総合運動公園の利用状況にあわせて、駐車場の利用等における情報を積極的にホームページに掲載
・多くの利用者の声を施設運営に反映させるため、スマートフォンによるアンケート及びカンセキスタジアムとちぎのツィッターを導入実施した。

エ　栃木県スポーツ施設協会運営事業

県内におけるスポーツ施設の適正な管理運営について協議し、スポーツ（レクリエーションを含む）の振興に寄与することを目的とし、次の事業を行った。

・理事会の開催　　令和５年　４月 21 日（金）（参加者 18 名）
・研究協議会の開催　令和５年 10 月 26 日（木）（参加者 31 名）
・第 84 回全国スポーツ施設研究協議大会の開催準備
　第 1 回実行委員会の開催　令和５年 11 月 22 日（水）

オ　施設の点検整備等

施設利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の保守点検・整備及び委託契約を行った。

①　自家用電気工作物保安管理業務（北・中央エリア）
②　消防設備保守点検業務（北・中央エリア）
③　陸上競技場及びナーサリー芝管理業務（カンセキスタジアムとちぎ）
④　多目的広場（投てき場）芝生年間維持管理業務
⑤　多目的広場（投てき場）ほか管理業務
⑥　夜間施設管理業務（施錠等）（中央エリア）
⑦　陸上機器保守点検業務（カンセキスタジアムとちぎ・第２陸上競技場・多目的広場（投てき場））
⑧　駐車場警備業務（中央エリア）
⑨　多目的広場（投てき場）放送設備保守点検
⑩　多目的広場（レストハウス・記録情報室）警備業務
⑪　ホームページ保守管理

＜以下、カンセキスタジアム分＞

①　総合管理業務委託

以下、内訳

§　電気設備点検（雷、直流電源装置、照明制御等）
§　大型映像装置点検、テレビ共聴、音響設備点検
§　昇降設備、自動ドア、防火消防設備点検
§　給排水設備点検（受水槽、加圧給水ポンプ、井戸ポンプ、雨水ろ過ユニット、電気温水器等）
§　空調関係設備点検、中央監視装置点検
§　清掃業務（日常清掃、定期清掃、繊維床清掃、窓ガラス清掃）、警備業務

カ　ユウケイ武道館管理運営に関する業務

a　会議の開催

専用利用調整会議　　令和６年２月 14 日（水）　武道館 会議室１・２

b　武道館協議会共催事業

①　地域社会武道指導者研修会（少林寺拳法）
　令和５年 10 月 28 日（土）～10 月 29 日（日）　　（参加者　31 名）
②　地域社会武道指導者研修会（ 弓 道 ）
　令和５年 11 月 25 日（土）～11 月 26 日（日）　　（参加者　33 名）
③　地域社会武道指導者研修会（ 合 気 道 ）
　令和５年 12 月 2 日（土）～12 月 3 日（日）　　（参加者　42 名）
④　地方青少年武道錬成大会（ なぎなた ）
　令和６年　１月 27 日（土）～１月 28 日（日）　　（参加者　36 名）

c　施設の点検整備

施設利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の保守点検・整備を行った。

① 地中熱ヒートポンプ設備保守点検
② 空調設備保守点検
③ 警備業務
④ 非常用放送設備保守点検
⑤ 自家発電機法定保守点検
⑥ 弓道場あづち整備
⑦ 受水槽清掃及び点検
⑧ エレベータ設備保守点検
⑨ 自動ドア保守点検
⑩ 清掃業務
⑪ 弓道場芝生維持管理業務

(2) とちぎスポーツ医科学センター運営事業

ア 測定に基づくスポーツ医科学に関する業務

対象選手の体力測定等を行い、測定結果をもとに各分野の専門家による「トレーニング・リハビリテーション指導」「医事相談」「栄養指導」「心理指導」等を実施した。

イ スポーツ医科学に関する情報の発信

スポーツ医科学に関する情報やセンターに関する情報をホームページ等により発信した。

ウ 女性アスリートサポート事業

女性アスリート特有の障害を予防し、健康管理上の問題について理解を深めるため、研修会及びサポートを実施した。

・女性アスリート講習会 期日：10 月 24 日（火）、12 月 10 日（土）、２月 25 日（日）、２月 26 日（月）、３月 15 日（金） 参加者：176 名

・血液検査 285 名実施

エ 会議の開催

・とちぎスポーツ医科学センター運営委員会（３回）
７月 18 日（火）、11 月 30 日（木）、３月 12 日（火）

６ スポーツ安全協会委託業務

（公財）スポーツ安全協会から委託を受け、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

７ 飲食物等販売事業及び施設等収益事業

運動施設利用者の便益供与とサービスの向上を図るため、今市青少年スポーツセンター及び栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設において飲食物等の販売事業を行った。

・自動販売機設置数 ８台

また、栃木県総合運動公園北・中央エリア内のスポーツ施設における公益目的以外の利用に対し、利用受付、利用許可、利用料の徴収、利用調整等の業務を行った。

・公益目的以外の利用 ４件

８ 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため、次のとおり理事会等を行った。

(1) 理事会（４回）

第１回理事会（令和５年６月２日（金））

審議事項 1. 令和４(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告について 2. 令和４(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支決算について 3. 副会長の推薦及び顧問の推挙について 4. 理事候補者の推薦について 5. 評議員候補者の推薦について 6.

公益財団法人栃木県スポーツ協会規程の改正について
報告事項　1.職務執行状況の報告について

第２回理事会（令和６年１月 12 日（金））
審議事項　1.令和５(2023)年度スポーツ顕彰について　2.評議員選定委員会委員の選任について　3.公益財団法人栃木県スポーツ協会定款の変更について　4.公益財団法人栃木県スポーツ協会規程の改正について　5.公益財団法人栃木県スポーツ協会臨時評議員会の開催方法及び提出議題（案）について　6.公益財団法人栃木県スポーツ協会第２回評議員会の招集及び提出議題（案）について
報告事項　1.評議員選定委員会の報告　2.栃木県スポーツ協会退任役員等に対する感謝状の贈呈について　3.特別国民体育大会結果概況について　4.とちぎスポーツフェスタ 2023 実施状況について　5.常勤役員に対する報酬等の支給額について　6.今市青少年スポーツセンター宿泊棟の休止について　7.職務執行状況の報告
第３回理事会（令和６年３月 14 日（木））
審議事項　1.令和５(2023)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会補正予算について　2.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画（案）について　3.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算（案）について　4.特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）（案）について　5.事務局長の任用について　6.理事候補者の推薦について　7.公益財団法人栃木県スポーツ協会規程の改正について　8.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会第１回評議員会の招集及び提出議題について　9.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会第２回評議員会（定時評議員会）の招集及び提出議題について
報告事項　1.理事会が推薦する評議員について　2.県民スポーツ大会等における toto 助成金による役員等への謝金について

臨時理事会（令和６年３月 29 日（金））書面決議
審議事項　1.常務理事の選定について

⑵　評議員会（３回）
第１回評議員会（令和５年６月 22 日（木））
審議事項　1.　令和４(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業報告について　2.令和４(2022)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支決算について　3.副会長の推薦及び顧問の推挙について　4.理事の選任について　5.評議員候補者の推薦について

報告事項　1.　公益財団法人栃木県スポーツ協会諸規程の改正について

臨時評議員会（令和６年２月 15 日（木））書面決議
審議事項　1.　公益財団法人栃木県スポーツ協会定款の変更について

第２回評議員会（令和６年３月 22 日（金））
審議事項　1.理事の選任について

報告事項　1.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画について　2.令和６(2024)年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算について　3.評議員選定委員会の報告　4.特別国民体育大会結果概況　5.とちぎスポーツフェスタ 2023 実施結果　6.　県民スポーツ大会等におけるtoto助成金による役員等の謝金について　7.公益財団法人栃木県スポーツ協会諸規程の改正について

⑶　専門委員会
ア　総務委員会（３回）
イ　スポーツ医・科学委員会（１回）

ウ　競技力向上委員会（休止）

⑷　賛助会

県民総スポーツの振興が果たす社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加促進を図った。〔　賛助会員 203 者、256 口　〕

⑸　国際交流事業

地域交流推進事業　※開催なし

⑹　スポーツコミッション事務

県と一体となってスポーツコミッション事業を推進した。